

ーンを示し、幽成の作用がみられなかった。胃全体の形態は腹壁固定により牛角胃様となり胃排出を早める一因ともなっていると考えられた。

【まとめ】Gastrosintigramにより食道離断術後の胃排出動態をみたが、非幽成群でも術後経過とともに胃排出が早くなる傾向にあり、胃排出障害は認められなかった。胃瘻造設と胃腹壁固定術に意義があると考ええる。

43. 肝細胞癌の診断における ^{99m}Tc -PMT delayed scan の意義

長谷川義尚 中野 俊一 井深啓次郎
橋詰 輝己 野口 敦司 石上 重行

(大阪府立成人病セ・RI)

われわれはすでに肝胆道系物質である ^{99m}Tc -PMT が肝細胞癌に取り込まれること、および肝細胞癌による ^{99m}Tc -PMT の取り込みは本剤注射 2 ないし 5 時間後の delayed scan によって明らかにされる場合が多いことを述べた。今回は ^{99m}Tc -PMT delayed scan による肝細胞癌の陽性描画の意義を明らかにする目的で、肝細胞癌による ^{99m}Tc -PMT の取り込みを、 ^{67}Ga の取り込みと比較した。対象は組織学的に診断した 32 例の肝細胞癌患者である。 ^{99m}Tc -PMT 注射後、5 分 1, 2, 3 および 5 時間でシンチグラムを撮像した。その後、2 週間以内に ^{67}Ga シンチグラムおよび ^{99m}Tc -コロイドによる肝シンチグラムを撮像した。32 例の肝細胞癌のうち、腫瘍による ^{99m}Tc -PMT の取り込みが周辺正常肝と比べて強い (+) 例は 16 例、腫瘍の取り込みが正常部と同程度 (±) のもの 5 例であった。一方、 ^{67}Ga シンチグラムでは、(+) 16 例および (±) 4 例であった。また、 ^{99m}Tc -PMT および ^{67}Ga の両者あるいはいずれかにより腫瘍の陽性 (+) 像が得られたものは 23 例であった。なお、32 例のうちコロイドシンチグラムで欠損像のみられなかった 6 例のうちでは 3 例に ^{99m}Tc -PMT の取り込み (+) がみられた。この 3 例のうち ^{67}Ga (+) 例は 1 例だけであった。次に、血清 AFP 値と ^{99m}Tc -PMT の取り込みの比較では AFP 400 ng/ml 以下の AFP 陰性ないし低産生例 (17 例) のうち、約半数 (9 例) において ^{99m}Tc -PMT の集積 (+) を認めた。

^{99m}Tc -PMT delayed scan を ^{67}Ga スキャンと併用することにより、肝細胞癌の陽性描画による核医学的診断能の向上が期待できる。

44. 肝シンチ、X-CT、超音波検査で診断困難であった肝細胞癌の一例

林 茂筆 大村 昌弘 池田 穂積
浜田 国雄 田中 茂子 津村 昌
谷口 脩二 越智 宏暢 小野山靖人
(大阪市大・放)
日高 忠治 本田 伸行 (日生病院・放)

症例は 64 歳、男性。両下肢マヒを主訴とし本院整形外科へ入院。骨シンチにて、胸椎、腰椎に異常集積像を認め、胸椎腫瘍切除術を施行し、病理組織検査で肝細胞癌の胃転移と診断された。肝病巣検索のために画像診断が行われた。コロイド肝シンチでは肝硬変のパターンを示しているが、肝内の RI 分布は均等で SOL はみられなかった。X 線 CT でも肝に異常な density は指摘できなかった。肝エコーも negative 所見であった。Ga シンチでは骨シンチでの異常集積部、すなわち胸椎、腰椎に異常集積が認められたが肝の分布には異常はみられなかった。一方、 ^{99m}Tc -PMT による肝、胆道シンチでも肝内 RI 分布、RI の腸管への排泄は正常であったが、3 時間、4.5 時間の delayed Scan にて、胸椎、腰椎に異常集積がみられ、これらの部位に bile をつくる悪性腫瘍の存在が考えられた。なお AFP は入院時の 12 であったが次第に上昇し、シンチグラフィなど画像診断が終了した時点では 300 台であった。次に血管造影が行われたが、直径約 1 cm 以下の小結節状の Tumor stain を肝全体に、びまん性に多数認めた。

最近、各種画像診断が広く行われ、小さい肝腫瘍も検出できるようになってきたが、本症例のような小結節が肝全体にびまん性に存在する肝細胞癌では盲点となることがあるので注意を要する。

45. 胆道シンチグラムにより確診し得た congenital broncho-biliary fistula の一例

波多 信 梅川智三郎
(大阪市立小児保健セ・放)
田中 満 森本 修 中村 資朗
(同・外)
土田 龍也 (同・RI)

症例は生後 5 日目の女子で、発熱、湿性咳嗽のため入院。胸部 X-P にて肺炎と診断し治療したが、軽快増悪